



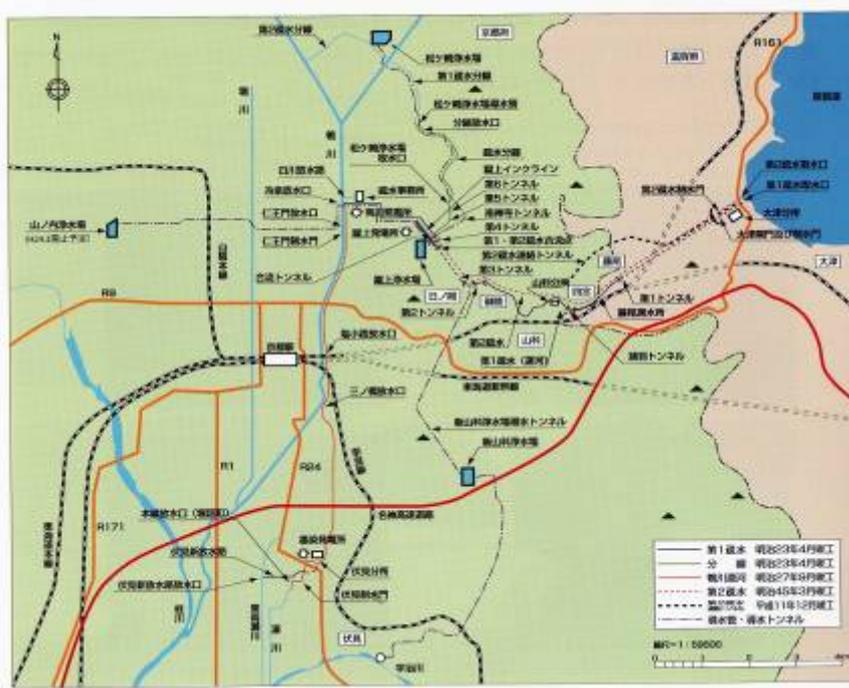
森と海の自然科・京都疎水巡り（納会）

六年ほど前に森と海の自然科は琵琶湖疎水浜大津の疎水取水口見学計画をして、疎水の取水口を見て参りました。今回大津の疎水取水口から疎水第1トンネル入り口（京阪三井寺）を見て、小関越えをして第1トンネル出口を見学します。その後、疎水沿いに山科まで歩きます。山科駅から蹴上までは地下鉄に乗り、第1、2疎水の合流地点から南禅寺の水路閣を見学した後、京都駅ビル内の「がんこ寿司店」にて13時30分より納会を兼ねたランチタイムにします。予約をする関係で人数を確認したいと思いますので、参加の連絡を至急願います。

- 1：日時時間 平成30年3月29日（木）
 3：集合場所 10時集合 京阪石山・坂本線三井寺駅
 4：行程 京阪石山・坂本線三井寺駅・・・大津第1、2疎水取水口見学・・・第1トンネル入口・・・小関越え・・・第1トンネル出口・・・諸羽トンネル入口・・・諸羽トンネル出口・・・山科駅→蹴上駅・・・蹴上・・・第1、2疎水合流地・・・水路閣・・・南禅寺・・・納会・・・京阪蹴上駅（解散）
 5：持ち物 水筒、雨具、双眼鏡、行動食、防寒用等々

京都の3大事業（電気、水道、運河）
 明治維新以後都が東京に移転したため、京都は寂れてしまった。京都の町を復興させるための事業に取り組むこととなった。知事であった北垣国道は大学出たの田邊菊郎に疎水工事を任せた。工事は明治18年に始まり23年に完成した。（第1疎水）
 疎水を利用して蹴上に発電所をつくり電気事業を発展させた。現在も活用している。
 また、明治45年に完成した第2疎水はトンネルのため、外からは疎水を見ることはできません。琵琶湖から疎水を通り、蹴上で1、2疎水が合流し京都市内の市民の飲料水として使われている。なお、第1疎水のトンネル入り口には明治の政治家による揮毫が刻み込まれています。

■ 琵琶湖疎水略図



田邊菊太郎像

扁額 →



*雨天時の場合

前日の19時の天気予報で降水確率40%以上の場合は小関越えハイキングを中止にし、南禅寺周辺の疎水巡りをいたします。

集合場所 京都地下鉄東西線・蹴上駅集合 12時

納会 13時30分より京都駅ビルの「がんこ寿司店」 にぎり寿司・やわらぎ弁当 2480円（税別）
 飲み物等は各自にて